

県スポ だより NAGANO

スポーツくじ



県スポだよりはスポーツ振興くじの助成を受けて発行しています。



私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。



スポーツ安全保険



SWAN16期生 活動スタート!

「県スポだより」は、
本会ホームページでもご覧いただけます。



<http://www.nagano-sports.or.jp/tayori/index.html>

CONTENTS

- ・第79回国民スポーツ大会冬季大会 …… 2～3
スケート競技会・アイスホッケー競技会
大会概要及び本部役員・長野県選手団名簿
- ・会議報告 …… 3～4
第2回体力向上・スポーツ医科学専門委員会
長野県スポーツ指導者研修会
指導者ミーティング
北信越ブロッククラブネットワークアクション2024
- ・SWANプロジェクト …… 5
16期生開講式・記念講演/「リ्यूージュ」平昌合宿
- ・信州やまなみ国スポ・全障スポニュース …… 6
- ・スポーツ少年団 …… 7
北信越ブロック指導者研究協議会/JSP0-ACP研修会
- ・加盟競技団体紹介 …… 8
長野県バウンドテニス協会

令和7年(2025年)
1月31日発行

第314号

第79回国民スポーツ大会冬季大会

スケート競技会・アイスホッケー競技会

I 大会概要及び本部役員

- 1 会 期 2025年1月26日(日)~2月5日(水)
- 2 会 場 地 岡山県岡山市・倉敷市・群馬県渋川市
- 3 日程と会場 ◎開始式・表彰式 ○競技日

会場 地	式典・競技	日 程										会 場					
		2025年1月					2月										
		26 (日)	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	31 (金)	1 (土)	2 (日)	3 (月)	4 (火)		5 (水)				
岡山	開 始 式																岡山芸術創造劇場 ハレノワ
倉敷	表 彰 式 (スケート)																ヘルスピア倉敷
	表 彰 式 (アイスホッケー)																倉敷市芸文館
渋川	ス ピ ード ス ケ ート	○	○	○	○												高崎健康福祉大学 伊香保リンク
岡山	ス ケ ート																岡山国際 スケートリンク
	倉敷	フ ィ ギ ュ ア															ヘルスピア倉敷 アイスアリーナ
岡山	ア イ ス ホ ッ ケ ー																岡山国際 スケートリンク
																	ヘルスピア倉敷 アイスアリーナ

4 役員・監督・選手数 (単位:人)

項 目	役員	監督	選 手			トレーナー・ サポート員・ 支援コーチ	合 計
			男	女	計		
本 部 役 員	30						30
ス ケ ート	ス ピ ード	4	16	16	32	5	41
	シ ョ ー ト ト ラ ッ ク	2	5	3	8	3(2)	13(12)
	フ ィ ギ ュ ア	1		2	2	1	4
ア イ ス ホ ッ ケ ー	2	28			28	5	35
合 計	30	9	49	21	70	14(13)	123(122)

ショートトラック男子選手1名はコーチ兼任

II 監督・選手

1 スピードスケート

- 監督4名 選手32名(男16名 女16名) 計36名
- 成年男子
- ◇野明 弘幸 下諏訪向陽高校(例)
 - <500補/1000①/R>
 - 山中 大地 (例)電算
 - <500②/R>
 - 高見澤匠 専修大学3年
 - <500①/R>
 - 原 眞尋 (例)エクスエ
 - <1500②/5000①/R>
 - 三井 晃太 専修大学4年
 - <1000補/1500補/R>
 - 伊藤 誠悟 長野県競技力向上対策本部
 - <1500①/5000②>
 - 菊原 颯 明治大学2年
 - <5000補>
 - 今井 寛人 日本体育大学3年
 - <1000②/R>
 - 松田 臣二 高崎健康福祉大学3年
- 成年女子
- ◇黒沢 誠 佐久長聖高校(例)

- <500①/1000②/R>
 - 北原 伊織 大東文化大学2年
 - <500②/R>
 - 清水 叶華 高崎健康福祉大学3年
 - <1000補/R>
 - 両角ほのか (例)ナショナルツール
 - <1500①/3000①/R>
 - 畠山 雪菜 高崎健康福祉大学2年
 - <1500補/3000②>
 - 宮川 鈴佳 日本体育大学4年
 - <1000①/1500②/R>
 - 宮川 笑佳 日本体育大学1年
 - <500補/R>
 - 林 ひよな 大東文化大学1年
 - <3000補>
 - 賀来 春音 大東文化大学1年
- 少年男子
- ◇畠山 薫 市立長野高校(例)
 - <500補/R>
 - 高見澤雅流 佐久長聖高校2年
 - <500②/1000補/R>
 - 平林 龍友 岡谷南高校3年
 - <500①/1000②/R>
 - 佐藤 来輝 市立長野高校1年
 - <5000②/10000①>
 - 雨宮 伊吹 市立長野高校3年

- <5000①/10000②/R>
 - 山中 壇 市立長野高校2年
 - <1000①/1500①/R>
 - 武田 来侍 下諏訪向陽高校3年
 - <1500補/10000補>
 - 山崎 凌駕 佐久長聖高校3年
 - <1500②/5000補/R>
 - 武倉 亮佑 佐久長聖高校2年
- 少年女子
- ◇市川 英彦 岡谷南高校(例)
 - <500補/1000補/R>
 - 北原 雅 岡谷東高校3年
 - <500①/1000②/R>
 - 村山 夏愛 都市大塩尻高校1年
 - <1500①/3000①/R>
 - 三井こころ 都市大塩尻高校1年
 - <500②/1000①/R>
 - 西尾 友里 JSFアカデミー1年
 - <R>
 - 浦田 心咲 伊那西高校1年
 - <3000補/R>
 - 由井 心埜 小海高校1年
 - <1500補/3000②>
 - 野明 芽衣 諏訪清陵高校2年
 - <1500②>
 - 宮川 穂佳 市立長野高校1年

2 ショートトラック

- 監督2名 選手8名(男5名 女3名) 計10名
- 成年男子
- ◇菊池 哲平 産産クラブ
 - <500①/1000②/R>
 - 菊池 耕太 社会医療法人 恵仁会
 - <500②/1000①/R>
 - 吉澤 柊威 大東文化大学3年
 - <R>
 - 大門 飛路 角上魚類ホールディングス(例)
 - <R>
 - 菊池 仁貴 大東文化大学1年
 - <R>
 - 酒井 応太 日本大学3年
- 成年女子
- <500/1000>
 - 宮下 心夢 山梨学院大学1年
- 少年
- ◇北原 伊吹 八ヶ岳乳業(例)
- 少年女子
- <500②/1000②>
 - 吉澤 葵 地球環境高校3年
 - <500①/1000①>
 - 仲野 六花 小海高校2年

5 本部役員

役職名	氏 名	所 属
団 長	林 泰章	長野県スケート連盟名誉会長 (公財)長野県スポーツ協会副会長
副 団 長	菊池 毅彦	長野県スケート連盟副会長
"	中村 慎	長野県アイスホッケー連盟会長
総 監 督	山岸 文典	長野県スケート連盟理事長
顧 問	北村 正博	(公財)長野県スポーツ協会理事長
"	中村 宏平	(公財)長野県スポーツ協会専務理事
"	加藤 浩	(公財)長野県スポーツ協会参与 長野県観光スポーツ部長
"	北島 隆英	(公財)長野県スポーツ協会参与 長野県観光スポーツ部参事
"	土屋 龍一郎	長野県スケート連盟副会長
"	上原 健治	長野県アイスホッケー連盟副会長
スポーツ ドクター	山本 亮	長野県スポーツドクター協議会 (佐久医療センター)
"	森廣 雅人	長野県スポーツドクター協議会 (平成会 小島病院)
"	瀬口 達也	長野県スポーツドクター協議会 (瀬口脳神経外科病院)
"	加藤 光朗	長野県スポーツドクター協議会 (長野赤十字病院)
総 務	伊東 一雄	(公財)長野県スポーツ協会参事兼事務局長
"	小林 幸良	長野県スケート連盟事務局長
"	太田ちひろ	(公財)長野県スポーツ協会事務局次長兼地域スポーツ課長
"	中田 史法	(公財)長野県スポーツ協会事務局次長 長野県観光スポーツ部スポーツ振興課課長補佐
"	赤津 英男	(公財)長野県スポーツ協会総務課長
"	大谷 雅亮	(公財)長野県スポーツ協会競技課長
"	鹿野恵利子	(公財)長野県スポーツ協会指導主事
"	松沢 孝明	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興係長
"	小出 茂樹	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興係スポーツ指導主事
"	山田 哲也	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室長
"	田玉 勝己	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室スポーツ指導主事
"	飯島 昭久	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室スポーツ指導主事
"	吉澤 国将	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室スポーツ指導主事
"	大槻 寛	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室スポーツ指導主事
"	土屋 佳吾	(公財)長野県スポーツ協会幹事 長野県観光スポーツ部競技力向上対策室主事
"	田中 義一	長野県観光スポーツ部山岳高原観光課総務係主事

3 フィギュア

監督1名 選手2名(女2名)計3名

少年女子

- ◇依田 麻由 (株)土木管理総合試験所
- 入江 美友 駿台甲府高校1年
- 山崎 有紗 長野高校1年

4 アイスホッケー

監督2名 選手28名(男28名)計30名

成年男子

- ◇行田 竜一 軽井沢町役場
- 小池 文二 三菱地所(株)
- 亀田 翔 明治大学2年
- 塚本 怜司 上田信用金庫
- 大和 純也 東洋大学3年
- 亀田 翼 明治大学2年
- 榎本 康生 早稲田大学1年
- 相澤 佑哉 アコーテイスコンサルティング(株)

- 青木優之介 長野市役所
- 中澤 走飛 榑本久
- 宮澤 航平 長野県警察
- 青木孝史朗 長野市役所
- 丸山 詳真 長野市役所
- 山崎 創也 東洋大学4年
- 横須賀大夢 中央大学3年
- 平林 慶太 早稲田大学4年
- 滝本 瑛士 日精工・エス・ピー機械(株)

少年男子

- ◇鈴木 勲 (株)プリンスホテル
- 行田 颯羽 軽井沢高校3年
- 富澤 陽翔 軽井沢高校3年
- 小宮山昂諒 軽井沢高校3年
- 上垣 和也 軽井沢高校3年
- 笠原 達 軽井沢高校3年
- 市川樹里安 軽井沢高校3年
- 大竹 健太 ISAK JAPAN 3年

- 市川 織羽 軽井沢高校2年
- 町山 勇伍 軽井沢高校1年
- 杉浦こころ 軽井沢高校1年
- 清水 颯太 長野高校1年
- 藤牧 宗良 長野西高校1年

2 サポート員・支援コーチ 計9名

スピードスケート

- 井出 敏彦 長野高校(株)
- 大澤 航 小海高校(株)
- 小松 清視 (株)やまびこスケートの森

ショートトラック

- 岩下 聖 栄中学校(株)
- 大門 飛路 角上魚類ホールディングス(株)

フィギュアスケート

- 村田 光弘 (株)ICE VILLAGE

アイスホッケー

- 青木 誠 軽井沢町役場
- 中澤 勝 自営業
- 小林 智紀 軽井沢高校(株)

III トレーナー・サポート員・支援コーチ

1 トレーナー 計5名

スピードスケート

- 黒岩 和弥 社会医療法人財団 慈恵会 相澤病院
- 宜保 愛香 Y2BASE東京

ショートトラック

- 向角 真伊 社会医療法人財団 慈恵会 相澤病院

アイスホッケー

- 秋山 純也 (株)BCF
- 秋篠 薫 Personal support déco

会議報告

第2回 体力向上・スポーツ医科学専門委員会



令和6年度第2回体力向上・スポーツ医科学専門委員会が11月28日(木)県スポーツ会館で行われました。

始めに加藤委員長から、「長野国スポに向けて、課題や修正点が見えてきた。この委員会は競技力だけでなく、ジュニア育成やスポーツ振興をどのよ

うにおこなっていくかを協議する場でもある。また、今後、競技力向上対策本部の医科学専門委員会との取組も活動の中心となっていく」とご挨拶がありました。

報告事項では、サポート研修会、医科学サポート事業の中間報告が行われました。また、新たな取組として始まったサポート者派遣事業の報告、マルチサポート事業の実施状況等の報告がありました。

協議事項として、アスレティックトレーナー養成講習会受講者推薦評価方法や、来年度の委員改選に伴い、競技力向上対策本部医科学専門委員会との委員兼任・効率のよい両委員会の開催

方法について提案がありました。最後に委員長から、現場に医科学スタッフが出向き、情報交換をしてお互い高め合っていくことが大事であり、現場で有効なサポートをできるシステム作りにご協力いただきたいのご発言がありました。

このあと、競技力向上対策本部医科学専門委員会と体力向上・スポーツ医科学専門委員会の医科学の職域からの選出の委員との合同委員会が行われました。今後2028長野国スポに向けて、両委員会の委員の兼任と委員会開催の効率化について、合同会の中で、方向性を共有し、来年度に向けて調整したいとの提案がありました。

長野県スポーツ指導者研修会



JSPPO公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進に向けた長野県スポーツ指導者研修会(主催:日本スポーツ協会・長野県スポーツ協会)を、7月20日中南信コース(松本市)、11月30日東北信コース(長野市)の2会場で開催しました。

県内JSPPO公認スポーツ指導者の皆さんが、新しい時代の指導者のあり方等について熱心に学びました。

【中南信コース】7月20日(土)松本市勤労者福祉センター

■講演 I

「身体の特徴を踏まえたスポーツ傷害予防とトレーニング」

講師 株式会社BCF トレーナー 長沼 立氏

■講演 II

「運動部活動の地域クラブへの移行について」

講師 桐蔭横浜大学名誉教授 (長野県教育委員会事務局保健厚生課総括コーディネーター) 吉田 勝光氏

【東北信コース】11月30日(土)長野ターミナル会館

■講演 I

「スポーツ障害予防の着眼点とトレーニング」

講師 長野赤十字病院 理学療法士 小池 聡氏

■講演 II

「スポーツの指導方法～暴力などの反倫理的行為を根絶する!～」

講師 桐蔭横浜大学名誉教授 (長野県教育委員会事務局保健厚生課総括コーディネーター) 吉田 勝光氏

会議報告

指導者ミーティング開催

ジュニア育成に向けた情報を発信し、指導における課題解決のための糸口を探る指導者ミーティングを、12月8日、長野市（ホテル信濃路）で開催し、北京オリンピック陸上男子4×100mリレー銀メダリストの塚原直貴氏に、「最後の1ピース!」と題し、指導者としてコミュニケーションや決断力が必要といった、これからの指導者のあり方についてわかりやすく講演いただきました。



北信越ブロッククラブネットワークアクション2024



11月21日(木)・22日(金)新潟県長岡市（シティホールプラザ アオーレ長岡）で「人が育ち クラブが育つ」を全体テーマに標記大会が開催されました。

初日は、スポーツ庁地域スポーツ課課長補佐 竹河 信裕 氏から「部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ環境の整備」について情報提供があり、続いて共通プログラム「次代の人材確保・育成」については、グローバルマーケティング(株)代表取締役CEO 今井 進太郎 氏から基調講演「組織を輝かせる「人財」の採用・養成手法～主体性のある人財が育てば、クラブが育つ～」がありました。

その後の独自プログラム①「人が育ちクラブが育つために」においては、4テーマ（テーマA「人」、B「連携」、C「財源」、D「今後の展望」）計8クラブによる事例発表とグループディスカッションが行われました。本県からは、特定非営利活動法人チャレンジゆう Achi クラブマネージャー 原 勝人 氏から「(テーマB) 部活動の地域移行」、特定非営利活動法人スポーツコミュニティー軽井沢クラブ 専務理事 小崎 陽一郎 氏から「(テーマC) 公益性

を保ち稼ぐ」、NPO法人リュシオスポーツクラブ 理事長 瀬戸 八州 氏から「(テーマD) 少子高齢化に向けた総合型クラブの役割」について発表しました。

また、事例紹介として一般社団法人たかぎスポーツクラブ（「行政・学校との連携 部活動の地域移行」）、ゆたかのスポーツクラブ（「豊野中学校運動部との連携について」）、一般社団法人木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ（「部活動地域移行と行政との連携」）、岸野スポーツクラブ（「少子化に向けた総合型クラブの役割」）、安曇野総合型地域スポーツクラブスポネット常念（「中学部活動の地域移行 長野県安曇野市堀金地区」）、特定非営利活動法人長野スポーツコミュニティクラブ東北（「スポコミ東北 地域クラブ移行について」）の6つのクラブが本大会冊子へ資料提供をしました。

大会2日目は独自プログラム②「若者プロジェクト～聞いて！私のクラブ～」があり、本県からは一般社団法人伊那市総合型地域スポーツクラブアシスタントクラブマネージャー 山岸和成 氏がリーダーとなり、小谷村総合型地域スポーツクラブ 事務局 宮嶋朱美 氏、一般社団法人SanyTOMI

クラブスタッフ 森山 雅斗 氏とともに、クラブの紹介やこれまでの取組、更には今後の展望について発表をしました。

全体テーマ「人が育ち クラブが育つ」。幼児から高齢者まで幅広い年代へのスポーツ機会の提供と健康増進、更には地域部活動の受け皿等、総合型地域スポーツクラブに寄せられる期待が膨らむ一方で、クラブスタッフの人材確保や育成については本県においても多くのクラブが抱える課題の一つとなっています。今大会がこの課題の解決に向けた糸口を探る機会になるとともに、2日間北信越ブロックの仲間と闊達な意見交流や情報交換を行う中で参加者にとって新たなエネルギーを補充する大変貴重な機会でもあったように感じます。

平日の開催にもかかわらず、2日間で総勢110名の参加があり、本県からも21名が参加されました。（各セッションにおいて積極的な情報発信にご協力いただきました関係者の皆様、ありがとうございました。）

来年度は、福井県福井市で開催される予定です。





SWAN

プロジェクト

Superb Winter Athlete NAGANO

16期生開講式&記念講演

『SWANプロジェクト』16期生開講式を11月23日(土)、長野ホテル犀北館で開催しました。

実行委員会委員長の北島隆英・長野県観光スポーツ部参事から16期生16名に認定証とSWANバッジが授与されました。

ご来賓の公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟専務理事の畑中淳子様からお祝いと激励のお言葉をいただいた後、16期生全員から力強い決意表明が行われました。

続いて、現役メンバーを代表して15期生塩見勇翔さんから16期生に対して、激励の言葉が送られました。



畑中淳子専務理事



酒井裕唯氏による記念講演



開講式の後、16期生が出席して開催された記念講演では、バンクーバー、ソチオリンピックショートトラック競技に出場された酒井裕唯氏から「夢を現実にする力」と題してご講演いただき、冬季スポーツの世界舞台をめざして羽ばたくSWAN生にエールが贈られました。

16期生の皆さんには、この日の喜びと決意を忘れずに、夢の実現に向けて努力を続けられるよう期待します。

「リュージュ」平昌合宿



12月23日から29日(6泊7日)、大韓民国平昌郡において、SWANプロジェクトリュージュ競技の海外合宿を行いました。集中的な氷上でのトレーニングにより、技術の向上を図るとともに、海外での生活を通して、トップアスリートとして必要なコミュニケーション能力等を身に付ける場となりました。現地では氷上トレーニングに加え、フィジカルトレーニング、映像分析、コンディショニングを行い大変貴重な合宿となりました。トレーニング時以外の生活においても、多くのことを見直し、実りのある合宿とすることができました。

(参加者はメンバー1名、指導者1名、トレーナー1名、スタッフ2名の計5名)



総合型地域スポーツクラブ クラブアドバイザーについて

長野県スポーツ協会に席を置き、県内のクラブや市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブ未育成市町村への設立に向けた普及・啓発活動や総合型地域スポーツクラブの継続的・安定的運営に向けた指導・助言などのアドバイスをしています。また、行政担当者や地域のスポーツ関係者などとの調整、総合型地域スポーツクラブ間の協働を促進するための活動、スポーツくじ助成に関する支援を行う活動、「登録・認証制度」の申請に向けた助言・支援を行う活動などを行っています。総合型地域スポーツクラブに関するご相談やご質問などお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】公益財団法人長野県スポーツ協会 026-235-3483



この事業はスポーツ振興くじ助成を受けて長野県スポーツ協会が実施しています。

信州やまなみ国スポ・全障スポニュース

長野県競技力向上 対策本部主催 第2回 競技力向上カンファレンス

12月19日(木)にホテル信濃路で、県スポーツ協会の理事長・競技力向上専門委員合同会議に続いて「第2回競技力向上カンファレンス」を開催しました。

今回は、「ジュニア世代の強化」をテーマとして、長野県卓球連盟、長野県フェンシング協会、長野県弓道連盟の3つの競技団体から実践発表をしていただきました。

また、参加した競技団体によるグループディスカッションを行い、ジュニア世代の強化についての具体的な強化方針、強化費の使い方、新たな取組などについて情報交換を行いました。

今後も、定期的に「競技力向上カンファレンス」を開催し、選手強化に関する最新の情報の共有や競技団体間での情報交換を行い、目標である天皇杯と皇后杯の獲得を目指します。

[長野県卓球連盟]

長野商業高等学校卓球部顧問 卓球連盟競技力向上委員長 小宮 大氏

ジュニア世代の強化を目的に、強化指定選手の認定や全国大会の開催、カテゴリー別の練習会・強化リーグ戦、強化拠点事業などを進めてきた。しかし、現状ではターゲット・エイジ(小5から中2)の強化不足や、有力選手の県外流出、競技人口の減少といった課題が浮き彫りになっている。これらの課題を解決するために、新たな取組を開始した。

■特別強化指定選手の新設

全国大会等で実績を残した選手を指定することで、選手の更なるレベルアップ支援、活動費の支援を実施していく。強化指定選手より上位のカテゴリーを新設したことによる選手のモチベーションアップも狙っている。

■強化事業のアップデート

新たな全国規模の大会の創設、小中学生強化練習会及び強化リーグ戦の定期的な開催、強化指定選手を対象とした月2回2時間半程度の強化練習会の定期開催等、これまでの強化事業をアップデートし、環境整備を進めている。

■強化拠点校の新規開拓

練習環境の整備や選手の受け皿として協力してもらえる学校の新規開拓を進めることで、選手の受け皿をつくり、県外流出を防ぎ県内で強化できる環境を整えている。

これまでの強化事業をアップデートし、新たな取組を加えることで、2028年に向けた強化を加速させていきたい。



卓球連盟：小宮氏



フェンシング協会：河西氏

[長野県フェンシング協会]

成年男子選手兼監督 フェンシング協会事務局次長 河西 遼太氏

県内の強化拠点は、箕輪町を中心とした上伊那エリアとなっている。これまでは全世代を対象とした合同練習を月に1回程度実施していたが、4年後の国スポにおいては、各種別で優勝や上位入賞を目指すことを決め、新たな強化策を進めている。

■ターゲットエイジ(小5~中2)対象の合同練習会(月1回)とトレーニング(月3回)

合同練習については、県内の小・中・高校生が集まって実践的な練習会を行っている。トレーニングは、専門のトレーナーに指導を依頼し、対面2回・オンライン1回で実施している。共通のツールを活用し、選手の出席管理やトレーニングの記録を強化スタッフが共有することで、選手の取組やモチベーションを随時把握している。

■ナショナルチームのコーチによる定期的指導及び指導者講習会の実施

選手への直接指導及び指導者向けの講習を行う。トップコーチ等招聘事業を活用し、招聘したコーチは4年後まで継続的に指導に入っていたり内諾をいただいている。

■競技普及を目的とした「スマートフェンシング」体験会の実施

箕輪町内の保育園や小学校、障がい者スポーツ支援センター、松本山雅様のマルチスポーツ教室やホームゲームイベントで体験会を開催した。小学校低学年を中心に見学や体験の希望者が増加し、手ごたえを感じている。

■強豪チーム(国スポで上位に入賞した県等)への遠征回数増加

少年チームを中心に強豪チームへの遠征頻度を増加。近隣では、岐阜県や東京都、埼玉県など国スポにおいて上位進出をしている強豪と練習試合の機会を多くしている。

■スポーツ専門員による日常的な中高生への指導

平日を中心に、地元の高校や中学校の練習に参加してもらっている。少年種別の選手にとって日頃の練習の質が大きく向上している。

フェンシング競技では、2028年の国スポにおいて各種別で優勝や上位入賞を目標にしているため、現状に満足せず強化を進めていきたい。



弓道連盟：矢部氏

[長野県弓道連盟]

高遠高等学校弓道部顧問 弓道連盟強化部 矢部 誠一氏

弓道競技は、成年・少年共に北信越ブロックのレベルが高く、突破できれば本大会の入賞も見えてくる。少年選手の9割以上が高校に入学してから競技を始めるため、実質2年半で強化を進めなければならない状況である。また、近年の課題として「指導者不足」「練習時間の減少」「国スポを目指す選手の減少」などがあり、これらの課題をクリアするために、以下のような方法で強化を進めている。

■高校の顧問への指導ポイント説明会の実施と強化部への勧誘

顧問のレベルを上げるため強化部の指導ポイントを知ってもらい、強化練習会と同じ指導を各校の部活動でも日常的にできるようにした。これまでは、指導実績や競技経験がないと強化部へ入れなかったが、実績や経験は不問とした。参加した顧問がいる学校は、確実に選手のレベルが上がった。

■希望する高校への出前講座の実施

強化部の指導者から、練習方法や注意点を選手と指導者が学び、日頃の練習の質を上げることで、選手選考会前に基礎的な下地ができる選手が増えた。

■休日の強化練習会の増加

部活動が休みの日に強化練習会を実施することで、練習時間の減少に歯止めをかけた。また、選手選考が進み、選手が絞られることにより手厚い指導ができています。

■成年選手との合同練習会の実施

団体の優勝経験のある成年選手との合同練習を行うことで、日本一の技術と精神力を吸収し、少年選手のレベルは確実に上がってきている。

更に、高校2年生を強化指定選手に指定し強化練習会に参加させることで、「大黒柱となる選手」を育成し競技レベルの安定化を図っている。

(県競技力向上対策室 菊池 浩成)



スポーツ少年団 北信越ブロック指導者研究協議会開催

令和6年度スポーツ少年団北信越ブロック指導者研究協議会が、11月16日(土)～17日(日)に長野市内のホテルで開催され、北信越各県の指導者等32名が参加しました。

アテネ・北京オリンピック女子柔道金メダリストで日本オリンピック委員会理事の谷本歩実氏を講師にお迎えし「NO！スポハラ ～ジュニア・ユース世代に自発的運動の楽しさを～」をテーマに講演いただいたあと、3つのグループに分かれてテーマ別の研究協議を行い、最後に各グループの代表者が協議内容や今後の課題等を発表したあと情報交換会等を行いました。

令和6年度 アクティブ チャイルド プログラム (JSPO-ACP) 研修会開催

公益財団法人日本スポーツ協会主催の令和6年度アクティブ チャイルド プログラム (JSPO-ACP) 研修会 ～子どもの心と体を育む楽しい遊びとその指導法～ が、12月14日(土)伊那市の防災コミュニティセンター及びロジテックアリーナで開催されました。

長野県及び近県のJSPO公認指導者等約40名が参加し、子どもの身体活動・運動の意義等の理論の講義を受講した後、運動遊びやその指導法の実技講習が行われました。

その場でできる指遊びから道具を使って身体全体を動かす遊びの紹介やその展開例など、様々な実技を通して、好奇心や面白さから運動への動機づけにつなげる指導のポイントなどを詳しく教えていただき、有意義な研修会となりました。



全国大会等スポーツ情報

大会名	成績	出場チーム名	備考
第75回全国高等学校駅伝競走大会(男子)	優勝 2時間01分33秒	佐久長聖高校	27年連続27回目出場 2年連続4度目の優勝
第36回全国高等学校駅伝競走大会(女子)	優勝 1時間07分27秒	長野東高校	18年連続18回目出場 2年ぶり2度目の優勝
第103回全国高校サッカー選手権大会	ベスト8	上田西高校	7年ぶり3回目出場
第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会	ベスト8	佐久長聖高校	3年連続3回目出場
第104回全国高校ラグビーフットボール大会	1回戦敗退	飯田高校	3年ぶり11回目出場
春の高校バレー 第77回全日本高等学校選手権大会	(男子) 1回戦敗退	松本国際高校	2年ぶり12回目出場
	(女子) 2回戦敗退	都市大塩尻高校	7年連続12回目出場
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会	(男子) 1回戦敗退	東海大学付属諏訪高校	11年連続25回目出場
	(女子) 1回戦敗退	東海大学付属諏訪高校	3年連続20回目出場
第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会	(男子) ベスト16		
	(女子) ベスト16		
第32回全国中学校駅伝大会	17位 (男子) 59分34秒	ISジュニア駅伝クラブ	初出場
	28位 (女子) 45分01秒	三陽陸上クラブ	初出場
皇后盃 第43回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会	5位 2時間18分13秒		5年ぶり4度目の入賞
天皇盃 第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会	優勝 2時間16分55秒		4大会連続11度目の優勝

加盟競技団体の紹介

長野県バウンドテニス協会

バウンドテニスは昭和55年に笹原正三氏（メルボルンオリンピックレスリング金メダリスト）によって考案、開発されました。持ち運びのできる専用の人工芝コート（3m×10m）にネット（高さ50cm）を設置し、ゴムボール（直径57mm）を専用ラケット（50cm）で打ち合う競技です。「体育館などで行う小さなテニス」をイメージしていただくと、わかりやすいかと思います。

競技には男女別・ランク（フリー・ミドル・シニア）別にシングルスとダブルス、あとレクリエーションとして6人で行うB T ラリー戦という種目があり、小さなお子さんからご高齢の方まで、体力、年齢に応じて気軽に楽しむことができるスポーツです。特にダブルスは、卓球同様2人の選手が交互に打球し、協力してプレーするため、勝利の喜びが大きく、人気のある種目です。体育館で行うため、天候に左右されることなく、年間通して楽しめます。

現在長野県の競技人口は140名ほ

どで、それぞれクラブを作って仲間と活動していますが、長野県バウンドテニス協会に登録して協会員になると大会などの連絡を受け取ることができ、お得に参加することができます。協会員でなくても長野県バウンドテニス協会のホームページを参照して大会に申し込むことができます。

県内で行われる大会として親善大会・交流大会が年5回あり、他に全国大会・北信越大会の予選会も行われています。県外の大会にも参加することができます。

全国レベルの大会は選手権大会・ゴールド大会（60才以上チーム戦）が毎年1回開催され、長野県の選手から全国チャンピオンが何度か誕生しており、ゴールド大会でも2回優勝しました。また、2024年から国民スポーツ大会の公開競技として参加できるこ



ととなり、SAGA大会へ出場しました。2028年に長野県で開催される国民スポーツ大会では、バウンドテニスは軽井沢で行われる予定です。

80才を超えても元気に活動している方もいます。長野県バウンドテニス協会のホームページに情報が掲載されていますので、どうぞ気軽に参加してみてください。

長野県バウンドテニス協会HP
<https://bta-nagano.main.jp/>



公益財団法人 長野県スポーツ協会

パートナー企業・団体の皆様

PLATINUM PARTNERS
 プラチナパートナー



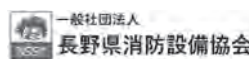
GOLD PARTNERS
 ゴールドパートナー



ライオンズクラブ国際協会
 334-E地区

SILVER PARTNERS
 シルバーパートナー

NiKKi Fron
 Since 1896



総合印刷センター
 株式会社 信光社